

# 令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岡山県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター	2
岡山市	総合病院岡山市立市民病院（ 想定企業会計）	3
岡山市	岡山市立せのお病院（想定企 業会計）	4
岡山市	国立病院機構岡山市立金川病 院	5
倉敷市	倉敷市立市民病院	6
玉野市	玉野市民病院	7
笠岡市	笠岡市民病院	8
井原市	井原市民病院	9
高梁市	国保成羽病院	10
備前市	備前病院	11
備前市	日生病院	12
備前市	吉永病院	13
瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	14
真庭市	真庭市国民健康保険湯原温泉 病院	15
美作市	美作市立大原病院	16
矢掛町	国保病院	17
鏡野町	国保病院	18
岡山市久米南町国民健康 保険病院組合	国保福渡病院	19

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名			
病院名	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,888,432	
決算規模(千円)	733,805,981	
標準財政規模(千円)	438,633,541	
財政力指数	0.52853	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	157.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,885			
1 経常収益	26,885			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	26,885			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,885			
2 経常費用	26,885			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	108.5
材料費	-	-	27.1	9.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.4
減価償却費	-	-	8.6	12.6
経費	-	-	22.0	34.8
(うち委託料)	-	-	11.8	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,885			
(うち支払利息)	26,885	-	0.9	2.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.5
医業収支比率	-		83.9	60.3
修正医業収支比率	-		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	61.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	総合病院岡山市立市民病院(想定企業会計)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	724,691	
決算規模(千円)	389,501,609	
標準財政規模(千円)	212,740,091	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	38,365			
1 経常収益	38,365			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	38,365			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	38,365			
2 経常費用	38,365			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	58.1
材料費	-	-	27.1	29.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.6	8.1
経費	-	-	22.0	18.7
(うち委託料)	-	-	11.8	10.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	38,365			
(うち支払利息)	38,365	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	93.4
医業収支比率	-		83.9	87.3
修正医業収支比率	-		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	84.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	468486.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	岡山市立せのお病院(想定企業会計)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	724,691
決算規模(千円)	389,501,609
標準財政規模(千円)	212,740,091
財政力指数	0.74
経常収支比率(%)	91.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	-	-	8.6	12.5
経費	-	-	22.0	34.4
(うち委託料)	-	-	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	93.1
医業収支比率	-		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	468486.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	国立病院機構岡山市立金川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,592 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	61.4	61.7	71.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	61.4	61.7	71.4
平均在院日数(一般病床のみ)		32.3	31.1	35.2

設立団体の状況		
人口(人)	724,691	
決算規模(千円)	389,501,609	
標準財政規模(千円)	212,740,091	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	81,845			
1 経常収益	81,845			
(1) 医業収益	67			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	67			
(うち他会計負担金)	67			
(2) 医業外収益	81,778			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	58,324			
(うち長期前受金戻入)	23,363			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	93,660			
2 経常費用	93,660			
(1) 医業費用	79,721			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	29,337	43786.6	8.6	13.4
経費	50,064	74722.4	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	320			
(2) 医業外費用	13,939			
(うち支払利息)	8,422	12570.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-11,815			
純損失	-11,815			
累積欠損金	313,886			
経常収支比率	87.4		93.0	95.6
医業収支比率	0.1		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	71.3		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	87150.7		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	71.3		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	25.0		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	651,303
1 固定資産	651,002
(1) 有形固定資産	651,002
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	301
(1) 現金及び預金	301
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	545,275
1 固定負債	508,076
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	508,076
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	34,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,324
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,574
(1) 長期前受金	183,619
(2) 長期前受金収益化累計額( )	181,045
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	106,028
1 本金	419,892
2 剰余金	-313,864
(1) 資本剰余金	22
(2) 利益剰余金	-313,886
負債・資本合計	651,303
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	54,209	58,391
資本勘定繰入	11,618	23,236
計	65,827	81,627

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	468486.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		倉敷市			
病院名		倉敷市立市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,117 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	198	67.5	60.5	62.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	67.5	60.5	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	15.3	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	474,592	
決算規模(千円)	225,179,151	
標準財政規模(千円)	118,041,925	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,721,877			
1 経常収益	3,701,125			
(1) 医業収益	3,322,293			
(うち修正医業収益)	3,200,088			
入院収益	2,077,710			
外来収益	904,916			
診療収入計	2,982,626			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	339,667			
(うち他会計負担金)	122,205			
(2) 医業外収益	378,832			
(うち国・都道府県補助金)	3,545			
(うち他会計補助・負担金)	137,683			
(うち長期前受金戻入)	159,843			
(うち資本費繰入収益)	52,579			
(3) 特別利益	20,752			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,729,004			
2 経常費用	3,728,478			
(1) 医業費用	3,604,775			
職員給与費	2,172,205	65.4	60.8	69.3
材料費	376,516	11.3	27.1	18.4
(うち薬品費)	179,796	5.4	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	194,673	5.9	11.8	9.1
減価償却費	456,064	13.7	8.6	10.8
経費	594,183	17.9	22.0	29.9
(うち委託料)	382,724	11.5	11.8	13.7
研究研修費	4,536			
資産減耗費	1,271			
(2) 医業外費用	123,703			
(うち支払利息)	28,520	0.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	526			
経常損益	-27,353			
純損益	-7,127			
累積欠損金	2,583,860			
経常収支比率	99.3		93.0	91.6
医業収支比率	92.2		83.9	77.4
修正医業収支比率	88.8		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	92.3		81.6	75.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,718,274
1 固定資産	7,285,339
(1) 有形固定資産	7,285,339
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,432,935
(1) 現金及び預金	1,999,283
(2) 未収金及び未収収益	429,641
(3) 貸倒引当金( )	3,593
(4) 貯蔵品	7,604
3 繰延資産	-
負債合計	9,605,612
1 固定負債	7,235,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,712,498
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	563,961
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	958,679
(6) リース債務	-
2 流動負債	816,624
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	445,609
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	27,905
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	165,162
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	162,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,553,850
(1) 長期前受金	2,473,436
(2) 長期前受金収益化累計額( )	919,586
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	112,662
1 資本金	2,527,759
2 剰余金	-2,415,097
(1) 資本剰余金	168,763
(2) 利益剰余金	-2,583,860
負債・資本合計	9,718,274
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,888	259,888
資本勘定繰入	163,821	163,821
計	423,709	423,709

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	玉野市		
病院名	玉野市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	56,531
決算規模(千円)	27,250,368
標準財政規模(千円)	15,706,974
財政力指数	0.51
経常収支比率(%)	94.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	559			
1 経常収益	559			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	559			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	559			
2 経常費用	559			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	559			
(うち支払利息)	559	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	75.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名				笠岡市	
病院名				笠岡市民病院	
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,571 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	86.9	92.5	98.6
療養	39	97.4	98.2	97.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	91.0	94.7	98.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	9.4	9.0

設立団体の状況		
人口(人)	46,088	
決算規模(千円)	26,249,132	
標準財政規模(千円)	13,739,965	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	57.6

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,954,087				
1 経常収益	1,952,399				
(1) 医業収益	1,527,879				
(うち修正医業収益)	1,470,589				
入院収益	991,346				
外来収益	389,753				
診療収入計	1,381,099				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	146,780				
(うち他会計負担金)	57,290				
(2) 医業外収益	424,520				
(うち国・都道府県補助金)	2,473				
(うち他会計補助・負担金)	382,020				
(うち長期前受金戻入)	20,572				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	1,688				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,922,751				
2 経常費用	1,908,616				
(1) 医業費用	1,822,024				
職員給与費	1,092,927	71.5	60.8	82.0	
材料費	215,668	14.1	27.1	14.2	
(うち薬品費)	118,426	7.8	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,815	4.4	11.8	6.1	
減価償却費	88,367	5.8	8.6	12.5	
経費	419,937	27.5	22.0	34.4	
(うち委託料)	221,869	14.5	11.8	16.9	
研究研修費	1,685				
資産減耗費	3,440				
(2) 医業外費用	86,592				
(うち支払利息)	4,509	0.3	0.9	1.2	
(3) 特別損失	14,135				
経常損益	43,783				
純損益	31,336				
累積欠損金	3,152,209				
経常収支比率	102.3		93.0	93.1	
医業収支比率	83.9		83.9	69.6	
修正医業収支比率	80.7		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	22.5		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	28.8		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	22.5		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	79.3		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,993,500
1 固定資産	1,103,311
(1) 有形固定資産	1,061,976
(2) 無形固定資産	5,335
(3) 投資その他の資産	36,000
2 流動資産	890,189
(1) 現金及び預金	643,983
(2) 未収金及び未収収益	235,537
(3) 貸倒引当金( )	2,352
(4) 貯蔵品	13,021
3 繰延資産	-
負債合計	1,052,881
1 固定負債	657,113
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	287,316
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	369,797
(6) リース債務	-
2 流動負債	272,551
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	60,206
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,950
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	123,331
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	123,217
(1) 長期前受金	252,230
(2) 長期前受金収益化累計額( )	129,013
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	940,619
1 資本金	4,003,607
2 剰余金	-3,062,988
(1) 資本剰余金	89,221
(2) 利益剰余金	-3,152,209
負債・資本合計	1,993,500
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	439,310	439,310
資本勘定繰入	32,520	32,520
計	471,830	471,830

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	206.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	井原市		
病院名	井原市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,444 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	105	82.5	81.5	77.6
療養	45	61.5	49.9	47.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	76.2	70.0	66.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	15.3	15.4

設立団体の状況	
人口(人)	38,384
決算規模(千円)	23,395,711
標準財政規模(千円)	13,062,084
財政力指数	0.40
経常収支比率(%)	88.4
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 10.3 -

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,673,979			
1 経常収益	2,673,979			
(1) 医業収益	2,180,271			
(うち修正医業収益)	2,140,583			
入院収益	1,459,479			
外来収益	514,171			
診療収入計	1,973,650			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	206,621			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	493,708			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	365,354			
(うち長期前受金戻入)	114,065			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,802,969			
2 経常費用	2,802,969			
(1) 医業費用	2,698,539			
職員給与費	1,720,168	78.9	60.8	69.3
材料費	267,332	12.3	27.1	18.4
(うち薬品費)	122,189	5.6	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	115,200	5.3	11.8	9.1
減価償却費	147,345	6.8	8.6	10.8
経費	552,631	25.3	22.0	29.9
(うち委託料)	195,082	8.9	11.8	13.7
研究研修費	7,086			
資産減耗費	3,977			
(2) 医業外費用	104,430			
(うち支払利息)	24,790	1.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-128,990			
純損益	-128,990			
累積欠損金	426,194			
経常収支比率	95.4		93.0	91.6
医業収支比率	80.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	79.3		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.6		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	15.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	80.9		81.6	75.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,891,070
1 固定資産	2,624,379
(1) 有形固定資産	2,080,088
(2) 無形固定資産	352
(3) 投資その他の資産	543,939
2 流動資産	1,266,691
(1) 現金及び預金	553,294
(2) 未収金及び未収収益	689,192
(3) 貸倒引当金( )	236
(4) 貯蔵品	23,678
3 繰延資産	-
負債合計	3,387,839
1 固定負債	1,564,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,464,585
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	99,419
(6) リース債務	-
2 流動負債	507,402
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	277,455
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	132,110
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	96,063
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,316,433
(1) 長期前受金	3,084,236
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,767,803
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	503,231
1 資本金	812,351
2 剰余金	-309,120
(1) 資本剰余金	7,738
(2) 利益剰余金	-316,858
負債・資本合計	3,891,070
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	405,042	405,042
資本勘定繰入	197,027	197,027
計	602,069	602,069

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		高梁市			
病院名		国保成羽病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,307 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	54	62.1	56.3	65.4
療養	42	26.4	20.7	4.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	46.4	40.7	38.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	17.5	26.3

設立団体の状況	
人口(人)	29,072
決算規模(千円)	29,681,061
標準財政規模(千円)	13,928,412
財政力指数	0.30
経常収支比率(%)	96.7
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 11.3 57.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,095,143			
1 経常収益	2,095,143			
(1) 医業収益	1,545,527			
(うち修正医業収益)	1,510,718			
入院収益	802,954			
外来収益	617,425			
診療収入計	1,420,379			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	125,148			
(うち他会計負担金)	34,809			
(2) 医業外収益	549,616			
(うち国・都道府県補助金)	23,932			
(うち他会計補助・負担金)	293,336			
(うち長期前受金戻入)	41,679			
(うち資本費繰入収益)	91,005			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,314,641			
2 経常費用	2,314,641			
(1) 医業費用	1,819,505			
職員給与費	921,247	59.6	60.8	82.0
材料費	146,730	9.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	105,025	6.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,091	1.9	11.8	6.1
減価償却費	180,781	11.7	8.6	12.5
経費	569,397	36.8	22.0	34.4
(うち委託料)	292,329	18.9	11.8	16.9
研究研修費	704			
資産減耗費	646			
(2) 医業外費用	495,136			
(うち支払利息)	12,627	0.8	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-219,498			
純損失	-219,498			
累積欠損金	1,638,175			
経常収支比率	90.5		93.0	93.1
医業収支比率	84.9		83.9	69.6
修正医業収支比率	83.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	21.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	15.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	76.3		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,382,247
1 固定資産	2,354,848
(1) 有形固定資産	2,147,045
(2) 無形固定資産	8,296
(3) 投資その他の資産	199,507
2 流動資産	1,027,399
(1) 現金及び預金	534,495
(2) 未収金及び未収収益	485,588
(3) 貸倒引当金( )	67
(4) 貯蔵品	7,346
3 繰延資産	-
負債合計	1,763,242
1 固定負債	935,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	888,876
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,747
(6) リース債務	-
2 流動負債	365,243
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	189,077
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,927
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	111,239
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	462,376
(1) 長期前受金	1,166,126
(2) 長期前受金収益化累計額( )	703,750
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,619,005
1 資本金	3,235,199
2 剰余金	-1,616,194
(1) 資本剰余金	21,981
(2) 利益剰余金	-1,638,175
負債・資本合計	3,382,247
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	229,472	328,145
資本勘定繰入	91,005	91,005
計	320,477	419,150

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	106.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		備前病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,566 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	46	66.3	57.4	43.2
療養	44	65.6	64.0	75.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	66.0	60.6	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	19.2	15.0

設立団体の状況	
人口(人)	32,320
決算規模(千円)	21,806,488
標準財政規模(千円)	12,552,815
財政力指数	0.42
経常収支比率(%)	89.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,678,811			
1 経常収益	1,678,811			
(1) 医業収益	1,048,805			
(うち修正医業収益)	1,047,386			
入院収益	600,531			
外来収益	383,733			
診療収入計	984,264			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	64,541			
(うち他会計負担金)	1,419			
(2) 医業外収益	630,006			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	131,699			
(うち長期前受金戻入)	53,972			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,784,636			
2 経常費用	1,784,636			
(1) 医業費用	1,259,259			
職員給与費	812,352	77.5	60.8	82.0
材料費	135,011	12.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	64,415	6.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,225	5.2	11.8	6.1
減価償却費	88,534	8.4	8.6	12.5
経費	219,905	21.0	22.0	34.4
(うち委託料)	119,131	11.4	11.8	16.9
研究研修費	1,412			
資産減耗費	2,045			
(2) 医業外費用	525,377			
(うち支払利息)	17,842	1.7	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-105,825			
純損益	-105,825			
累積欠損金	1,591,391			
経常収支比率	94.1		93.0	93.1
医業収支比率	83.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	83.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	86.6		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,580,736
1 固定資産	6,725,967
(1) 有形固定資産	5,026,727
(2) 無形固定資産	1,226
(3) 投資その他の資産	1,698,014
2 流動資産	1,854,769
(1) 現金及び預金	1,097,185
(2) 未収金及び未収収益	712,945
(3) 貸倒引当金( )	15,612
(4) 貯蔵品	59,888
3 繰延資産	-
負債合計	4,161,524
1 固定負債	2,224,822
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,104,465
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,357
(6) リース債務	-
2 流動負債	673,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	241,246
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	135,095
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	295,742
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,263,619
(1) 長期前受金	2,630,777
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,367,158
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,419,212
1 本金	5,606,664
2 剰余金	-1,187,452
(1) 資本剰余金	84,967
(2) 利益剰余金	-1,272,419
負債・資本合計	8,580,736
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	130,430	133,118
資本勘定繰入	47,060	83,652
計	177,490	216,770

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		日生病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,545 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	58.0	55.5	56.9
療養	52	76.3	66.9	81.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	68.4	61.9	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	13.7	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	21,806,488	
標準財政規模(千円)	12,552,815	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,309,096			
1 経常収益	1,309,096			
(1) 医業収益	1,141,218			
(うち修正医業収益)	1,114,246			
入院収益	636,895			
外来収益	424,253			
診療収入計	1,061,148			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,070			
(うち他会計負担金)	26,972			
(2) 医業外収益	167,878			
(うち国・都道府県補助金)	2,311			
(うち他会計補助・負担金)	127,823			
(うち長期前受金戻入)	31,555			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,307,562			
2 経常費用	1,307,562			
(1) 医業費用	1,242,795			
職員給与費	652,513	57.2	60.8	82.0
材料費	308,953	27.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	221,919	19.4	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,739	6.1	11.8	6.1
減価償却費	93,071	8.2	8.6	12.5
経費	186,324	16.3	22.0	34.4
(うち委託料)	70,792	6.2	11.8	16.9
研究研修費	858			
資産減耗費	1,076			
(2) 医業外費用	64,767			
(うち支払利息)	10,428	0.9	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
損益	1,534			
純損益	1,534			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		93.0	93.1
医業収支比率	91.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	89.7		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.8		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	11.8		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	88.3		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,580,736
1 固定資産	6,725,967
(1) 有形固定資産	5,026,727
(2) 無形固定資産	1,226
(3) 投資その他の資産	1,698,014
2 流動資産	1,854,769
(1) 現金及び預金	1,097,185
(2) 未収金及び未収収益	712,945
(3) 貸倒引当金( )	15,612
(4) 貯蔵品	59,888
3 繰延資産	-
負債合計	4,161,524
1 固定負債	2,224,822
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,104,465
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,357
(6) リース債務	-
2 流動負債	673,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	241,246
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	135,095
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	295,742
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,263,619
(1) 長期前受金	2,630,777
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,367,158
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,419,212
1 本金	5,606,664
2 剰余金	-1,187,452
(1) 資本剰余金	84,967
(2) 利益剰余金	-1,272,419
負債・資本合計	8,580,736
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	154,795	154,795
資本勘定繰入	23,158	23,158
計	177,953	177,953

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		吉永病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,550 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	83.7	82.3	84.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	83.7	82.3	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	16.2	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	21,806,488	
標準財政規模(千円)	12,552,815	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,941,142				
1 経常収益	1,941,142				
(1) 医業収益	1,776,587				
(うち修正医業収益)	1,772,550				
入院収益	588,614				
外来収益	1,108,517				
診療収入計	1,697,131				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	79,456				
(うち他会計負担金)	4,037				
(2) 医業外収益	164,555				
(うち国・都道府県補助金)	2,851				
(うち他会計補助・負担金)	97,908				
(うち長期前受金戻入)	35,488				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,037,501				
2 経常費用	2,037,501				
(1) 医業費用	1,928,919				
職員給与費	1,007,647	56.7	60.8	82.0	
材料費	490,820	27.6	27.1	14.2	
(うち薬品費)	334,034	18.8	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	141,323	8.0	11.8	6.1	
減価償却費	104,753	5.9	8.6	12.5	
経費	321,386	18.1	22.0	34.4	
(うち委託料)	134,042	7.5	11.8	16.9	
研究研修費	2,086				
資産減耗費	2,227				
(2) 医業外費用	108,582				
(うち支払利息)	15,663	0.9	0.9	1.2	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-96,359				
純損益	-96,359				
累積欠損金	181,329				
経常収支比率	95.3		93.0	93.1	
医業収支比率	92.1		83.9	69.6	
修正医業収支比率	91.9		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	90.3		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)		
区分	決算額	
資産合計	8,580,736	
1 固定資産	6,725,967	
(1) 有形固定資産	5,026,727	
(2) 無形固定資産	1,226	
(3) 投資その他の資産	1,698,014	
2 流動資産	1,854,769	
(1) 現金及び預金	1,097,185	
(2) 未収金及び未収収益	712,945	
(3) 貸倒引当金( )	15,612	
(4) 貯蔵品	59,888	
3 繰延資産	-	
負債合計	4,161,524	
1 固定負債	2,224,822	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,104,465	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	120,357	
(6) リース債務	-	
2 流動負債	673,083	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	241,246	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	135,095	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	295,742	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	1,263,619	
(1) 長期前受金	2,630,777	
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,367,158	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-	
資本合計	4,419,212	
1 本金	5,606,664	
2 剰余金	-1,187,452	
(1) 資本剰余金	84,967	
(2) 利益剰余金	-1,272,419	
負債・資本合計	8,580,736	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額( )	-	
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-	
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	101,945	101,945
資本勘定繰入	29,330	29,330
計	131,275	131,275

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		瀬戸内市			
病院名		瀬戸内市立瀬戸内市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,803 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 臨 感 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	110	82.6	78.8	72.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	82.6	78.8	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	14.5	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	36,048	
決算規模(千円)	24,839,506	
標準財政規模(千円)	11,841,346	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	35.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,814,948			
1 経常収益	1,814,342			
(1) 医業収益	1,634,101			
(うち修正医業収益)	1,584,768			
入院収益	1,139,081			
外来収益	325,858			
診療収入計	1,464,939			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	169,162			
(うち他会計負担金)	49,333			
(2) 医業外収益	180,241			
(うち国・都道府県補助金)	3,611			
(うち他会計補助・負担金)	122,522			
(うち長期前受金戻入)	19,617			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	606			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,055,561			
2 経常費用	2,054,948			
(1) 医業費用	1,961,748			
職員給与費	1,100,452	67.3	60.8	69.3
材料費	158,051	9.7	27.1	18.4
(うち薬品費)	66,489	4.1	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	88,705	5.4	11.8	9.1
減価償却費	163,136	10.0	8.6	10.8
経費	537,088	32.9	22.0	29.9
(うち委託料)	224,359	13.7	11.8	13.7
研究研修費	2,871			
資産減耗費	150			
(2) 医業外費用	93,200			
(うち支払利息)	10,486	0.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	613			
損益	-240,606			
純損益	-240,613			
累積欠損金	846,804			
経常収支比率	88.3		93.0	91.6
医業収支比率	83.3		83.9	77.4
修正医業収支比率	80.8		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	79.9		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,914,334
1 固定資産	2,879,960
(1) 有形固定資産	2,301,252
(2) 無形固定資産	42,786
(3) 投資その他の資産	535,922
2 流動資産	1,034,374
(1) 現金及び預金	727,158
(2) 未収金及び未収収益	304,313
(3) 貸倒引当金( )	1,567
(4) 貯蔵品	4,425
3 繰延資産	-
負債合計	2,741,936
1 固定負債	2,017,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,867,777
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	149,576
(6) リース債務	-
2 流動負債	316,034
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	147,781
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,956
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	75,705
(9) 前受金及び前受収益	261
3 繰延収益	408,549
(1) 長期前受金	570,928
(2) 長期前受金収益化累計額( )	162,379
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,172,398
1 本金	2,018,127
2 剰余金	-845,729
(1) 資本剰余金	1,075
(2) 利益剰余金	-846,804
負債・資本合計	3,914,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	168,929	171,855
資本勘定繰入	48,662	48,662
計	217,591	220,517

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		真庭市			
病院名		真庭市国民健康保険湯原温泉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,830 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	55.0	57.9	57.7
療養	55	45.2	47.9	49.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	49.9	52.7	53.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	17.5	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	42,725	
決算規模(千円)	36,931,784	
標準財政規模(千円)	20,104,810	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,256,615			
1 経常収益	1,256,615			
(1) 医業収益	992,700			
(うち修正医業収益)	946,224			
入院収益	517,730			
外来収益	360,325			
診療収入計	878,055			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	114,645			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	263,915			
(うち国・都道府県補助金)	2,574			
(うち他会計補助・負担金)	218,373			
(うち長期前受金戻入)	33,425			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,470,786			
2 経常費用	1,470,786			
(1) 医業費用	1,407,598			
職員給与費	871,817	87.8	60.8	69.3
材料費	202,544	20.4	27.1	18.4
(うち薬品費)	149,604	15.1	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,554	3.6	11.8	9.1
減価償却費	123,008	12.4	8.6	10.8
経費	208,471	21.0	22.0	29.9
(うち委託料)	71,976	7.3	11.8	13.7
研究研修費	1,101			
資産減耗費	657			
(2) 医業外費用	63,188			
(うち支払利息)	15,852	1.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-214,171			
純損益	-214,171			
累積欠損金	204,386			
経常収支比率	85.4		93.0	91.6
医業収支比率	70.5		83.9	77.4
修正医業収支比率	67.2		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	26.7		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	67.4		81.6	75.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,289,283
1 固定資産	2,309,254
(1) 有形固定資産	2,309,254
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,980,029
(1) 現金及び預金	1,921,611
(2) 未収金及び未収収益	45,270
(3) 貸倒引当金( )	1,058
(4) 貯蔵品	14,206
3 繰延資産	-
負債合計	1,676,053
1 固定負債	947,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	748,933
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	198,332
(6) リース債務	-
2 流動負債	285,634
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	116,706
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,680
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,248
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	443,154
(1) 長期前受金	831,353
(2) 長期前受金収益化累計額( )	388,199
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,613,230
1 資本金	2,479,551
2 剰余金	133,679
(1) 資本剰余金	33,152
(2) 利益剰余金	100,527
負債・資本合計	4,289,283
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	264,792	264,849
資本勘定繰入	80,357	82,001
計	345,149	346,850

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		美作市			
病院名		美作市立大原病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,642 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	80.3	84.3	81.1
療養	40	80.9	81.4	86.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	80.6	82.9	83.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.8	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	25,939	
決算規模(千円)	25,179,061	
標準財政規模(千円)	13,694,063	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,082,115			
1 経常収益	1,082,115			
(1) 医業収益	865,807			
(うち修正医業収益)	829,513			
入院収益	585,982			
外来収益	169,839			
診療収入計	755,821			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	109,986			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	216,308			
(うち国・都道府県補助金)	4,450			
(うち他会計補助・負担金)	191,171			
(うち長期前受金戻入)	10,105			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,061,604			
2 経常費用	1,061,604			
(1) 医業費用	1,007,969			
職員給与費	645,828	74.6	60.8	82.0
材料費	100,308	11.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	42,836	4.9	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,388	4.5	11.8	6.1
減価償却費	83,965	9.7	8.6	12.5
経費	174,634	20.2	22.0	34.4
(うち委託料)	36,944	4.3	11.8	16.9
研究研修費	131			
資産減耗費	3,103			
(2) 医業外費用	53,635			
(うち支払利息)	8,341	1.0	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	20,511			
純損益	20,511			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.9		93.0	93.1
医業収支比率	85.9		83.9	69.6
修正医業収支比率	82.3		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	26.3		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	21.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	80.5		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,780,765
1 固定資産	1,857,669
(1) 有形固定資産	1,457,669
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	400,000
2 流動資産	2,923,096
(1) 現金及び預金	2,792,147
(2) 未収金及び未収収益	131,255
(3) 貸倒引当金( )	3,500
(4) 貯蔵品	3,194
3 繰延資産	-
負債合計	973,089
1 固定負債	733,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	556,938
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	176,579
(6) リース債務	-
2 流動負債	78,699
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,991
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	160,873
(1) 長期前受金	499,502
(2) 長期前受金収益化累計額( )	338,629
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,807,676
1 本金	1,524,984
2 剰余金	2,282,692
(1) 資本剰余金	49,254
(2) 利益剰余金	2,233,438
負債・資本合計	4,780,765
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	227,465	227,465
資本勘定繰入	28,522	28,522
計	255,987	255,987

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	矢掛町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,875 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救 臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	57	89.5	84.4	85.7
療養	60	84.5	72.5	78.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	117	86.9	78.3	82.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	20.9	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	13,414	
決算規模(千円)	10,870,808	
標準財政規模(千円)	5,804,153	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,739,149			
1 経常収益	1,706,820			
(1) 医業収益	1,461,991			
(うち修正医業収益)	1,410,691			
入院収益	1,055,728			
外来収益	307,318			
診療収入計	1,363,046			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	98,945			
(うち他会計負担金)	51,300			
(2) 医業外収益	244,829			
(うち国・都道府県補助金)	5,360			
(うち他会計補助・負担金)	140,800			
(うち長期前受金戻入)	28,634			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32,329			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,789,280			
2 経常費用	1,789,280			
(1) 医業費用	1,704,619			
職員給与費	1,116,182	76.3	60.8	69.3
材料費	185,352	12.7	27.1	18.4
(うち薬品費)	75,532	5.2	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,456	5.8	11.8	9.1
減価償却費	112,982	7.7	8.6	10.8
経費	286,914	19.6	22.0	29.9
(うち委託料)	128,312	8.8	11.8	13.7
研究研修費	1,925			
資産減耗費	1,264			
(2) 医業外費用	84,661			
(うち支払利息)	18,612	1.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-82,460			
純損益	-50,131			
累積欠損金	237,371			
経常収支比率	95.4		93.0	91.6
医業収支比率	85.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	82.8		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	84.7		81.6	75.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,695,031
1 固定資産	2,941,698
(1) 有形固定資産	1,346,305
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,595,393
2 流動資産	753,333
(1) 現金及び預金	440,615
(2) 未収金及び未収収益	305,789
(3) 貸倒引当金( )	473
(4) 貯蔵品	7,402
3 繰延資産	-
負債合計	1,744,611
1 固定負債	1,262,352
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	960,745
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	301,607
(6) リース債務	-
2 流動負債	249,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,475
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,698
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	67,730
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	232,510
(1) 長期前受金	538,561
(2) 長期前受金収益化累計額( )	306,051
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,950,420
1 資本金	2,037,591
2 剰余金	-87,171
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-87,171
負債・資本合計	3,695,031
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,289	192,100
資本勘定繰入	77,166	77,100
計	269,455	269,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	鏡野町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,062 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	48	78.2	79.1	74.6
療養	40	48.7	55.5	48.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	64.8	68.4	62.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	18.0	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	12,062	
決算規模(千円)	14,737,864	
標準財政規模(千円)	7,450,042	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	39.0

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,157,447				
1 経常収益	1,157,447				
(1) 医業収益	1,058,621				
(うち修正医業収益)	1,023,621				
入院収益	593,148				
外来収益	393,881				
診療収入計	987,029				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	71,592				
(うち他会計負担金)	35,000				
(2) 医業外収益	98,826				
(うち国・都道府県補助金)	856				
(うち他会計補助・負担金)	5,000				
(うち長期前受金戻入)	15,108				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,328,814				
2 経常費用	1,328,814				
(1) 医業費用	1,270,479				
職員給与費	890,711	84.1	60.8	82.0	
材料費	149,285	14.1	27.1	14.2	
(うち薬品費)	68,769	6.5	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,296	6.3	11.8	6.1	
減価償却費	67,661	6.4	8.6	12.5	
経費	157,277	14.9	22.0	34.4	
(うち委託料)	97,452	9.2	11.8	16.9	
研究研修費	3,214				
資産減耗費	2,331				
(2) 医業外費用	58,335				
(うち支払利息)	2,378	0.2	0.9	1.2	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-171,367				
純損益	-171,367				
累積欠損金	243,077				
経常収支比率	87.1		93.0	93.1	
医業収支比率	83.3		83.9	69.6	
修正医業収支比率	80.6		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	3.5		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	3.5		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	84.1		81.6	68.2	

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,698,728
1 固定資産	1,083,972
(1) 有形固定資産	1,083,434
(2) 無形固定資産	538
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,614,756
(1) 現金及び預金	1,453,865
(2) 未収金及び未収収益	164,408
(3) 貸倒引当金( )	6,013
(4) 貯蔵品	2,496
3 繰延資産	-
負債合計	665,260
1 固定負債	382,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	348,079
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,959
(6) リース債務	-
2 流動負債	128,641
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,749
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,004
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,888
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	154,581
(1) 長期前受金	738,465
(2) 長期前受金収益化累計額( )	583,884
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,033,468
1 資本金	1,421,829
2 剰余金	611,639
(1) 資本剰余金	4,301
(2) 利益剰余金	607,338
負債・資本合計	2,698,728
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	38,145	40,000
資本勘定繰入	66,162	98,205
計	104,307	138,205

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市久米南町国民健康保険病院組合		
病院名	国保福渡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,860 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	52	50.5	52.5	56.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	50.5	52.5	56.9
平均在院日数(一般病床のみ)		26.5	29.8	29.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	773,400			
1 経常収益	773,400			
(1) 医業収益	635,409			
(うち修正医業収益)	523,758			
入院収益	282,806			
外来収益	226,424			
診療収入計	509,230			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	126,179			
(うち他会計負担金)	111,651			
(2) 医業外収益	137,991			
(うち国・都道府県補助金)	7,203			
(うち他会計補助・負担金)	92,903			
(うち長期前受金戻入)	33,375			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	916,394			
2 経常費用	916,394			
(1) 医業費用	876,954			
職員給与費	552,256	86.9	60.8	82.0
材料費	75,731	11.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	30,238	4.8	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,872	5.6	11.8	6.1
減価償却費	84,587	13.3	8.6	12.5
経費	162,928	25.6	22.0	34.4
(うち委託料)	96,309	15.2	11.8	16.9
研究研修費	473			
資産減耗費	979			
(2) 医業外費用	39,440			
(うち支払利息)	3,320	0.5	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-142,994			
純損失	-142,994			
累積欠損金	633,309			
経常収支比率	84.4		93.0	93.1
医業収支比率	72.5		83.9	69.6
修正医業収支比率	59.7		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.4		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	32.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	26.4		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	62.1		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,393,986
1 固定資産	721,516
(1) 有形固定資産	656,380
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	65,136
2 流動資産	672,470
(1) 現金及び預金	574,564
(2) 未収金及び未収収益	93,084
(3) 貸倒引当金( )	2,060
(4) 貯蔵品	6,827
3 繰延資産	-
負債合計	389,035
1 固定負債	161,130
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,130
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	138,270
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,501
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,253
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	50,592
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	89,635
(1) 長期前受金	204,931
(2) 長期前受金収益化累計額( )	115,296
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,004,951
1 本金	1,441,716
2 剰余金	-436,765
(1) 資本剰余金	5,063
(2) 利益剰余金	-441,828
負債・資本合計	1,393,986
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	203,572	204,554
資本勘定繰入	36,041	29,029
計	239,613	233,583

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。